

十勝毎日新聞

2010年(平成22年) 3月14日 日曜日

発行所:十勝毎日新聞社
〒080-8688
帯広市東1条南8丁目
電話(代表)0155-22-2121

減速技術を試験

THICSカムイ打ち上げ

大 樹

【大樹】NPO法人北海道宇宙科学技術創成センター(HASTIC、札幌)は14日午前、CAMUI(カムイ)型ハイブリッドロケットの打ち上げ試験を町多目的航空公園付近の原野で行った。当初は13日の予定だったが、強風

のため延期。飛行データ取得や2段階減速技術試験のため、計3機を打ち上げ、成功した。今回の試験は、同ロケットを宇宙開発の実験手段などに幅広く活用してもらうための信頼性の向上を目的とし、ス

タッフ16人が来町した。この日は1機目を午前7時10分、さらに2、3機目を同8時40分と10時55分にも打ち上げた。このうち1機目は全長3・9メートル、重量34トンで今回最大。これまで打ち上げた機体の中でも最大級で、飛行

の安定性を確認した。他の機体では、より安定して降下できる2段階式のパラシュートや、ダミーミッション装着時の飛行特性を試験した。

試験後、打ち上げ保安責任者の永田晴紀・北大大学院教授は「3機とも予定通りに打ち上がり、回収もうまくいった。幾つかの課題が出たので、今年12月にも再び試験をしたい」と話していた。

同ロケットは火薬を使用せず、ポリエチレンと液体酸素を推進剤とするため安価で製作でき、再利用も可能。HASTICが開発を進め、大樹

では2002年から昨年までに10回、計17機を打ち上げての性能試験のため、同ロケットを使用した。(佐藤圭史) 発機構(JAXA、東京)が

宇宙往還機用のエンジン部品に10回、計17機を打ち上げての性能試験のため、同ロケットを使用した。(佐藤圭史) (2面に関連記事)



関係者が見守る中、打ち上げられるカムイ型ロケット(14日午前7時10分、山下僚撮影)